



自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

11/20 (火) テーマ：『明るく 楽しく 元気よく』
23社23名出席 講師：(社)倫理研究所 法人スーパーバイザー
(株)コヤマ 小山 久雄 氏

大切なのは、身の回りのこと。早速、できることから実行しよう！

「倫理を学ぶ人・学ばない人の差」が出ないと、意味がない

1. 早起き

不幸はすべて、自分のわがまま・勝手から来ている。そのわがまは毎日、早起きせず、もっと寝たいと布団に留まることから始まる。丸山敏雄は、毎日と思わず、今一回だけと思えば、続けられると言った。また西郷隆盛は、目が覚めた途端に布団を蹴飛ばして起きたという。早起きは自然のリズム。わがまを正す第一歩だ。



Hisao Koyama

「倫理とは何だ?」、「それは私だ(笑)」。6年間駅前清掃も続けた小山氏は、正に実践の塊だ。

小山氏は倫理歴15年、昨年まで埼玉県の幹事長を2年務めた後、法人スーパーバイザーとなる。小山氏が所属する埼玉県古河倫理法人会は、MSに10人も参加すれば多い方だったが、現在では役員朝礼だけで約20名が参加、日本一の単会を目指して、「日常できることを極めたい」と話す。

2. 挨拶・返事・後始末

人に好かれる人でない、何もできない。「明朗・愛和・喜働→純情(すなお)」が大切であり、「わかりやすく実行しやすい十七箇条」をそのまま実践すれば良い。それにはまず、大きな声、笑顔、早く歩く、の3つを心がけ、人間としてのしつけや最低限の礼儀、つまり挨拶・返事・後始末を極めることだ。

前夜研修に本日も、小山氏が一番強調したことは、「毎回MSに来ていても、倫理歴が長くても、倫理を学ぶ人と学ばない人の差が出なければ意味がない」ということだ。その差とは何なのか。

「大きな声」と「どなる」の違いは、発した言葉がプラスかマイナスかで決まる。だから「ハイ!」と言って即実行すれば、元気になる。会社でも家庭でも、呼ばれて「何?」と眼を細めるようでは、だめだ。奥さんや子供にも、きちんと挨拶をしよう。中・高校生の部活でも、全国大会に出るような部は、挨拶が素晴らしい。「いつでもどこで誰がやっても正しい」習慣作りを、いつも心がけたい。

小山氏は、「日常生活で出来ることばかり。できることから身に付けていってください。いつでも原点に帰り、自分を毎回正すことが大切です」と話し、以下具体例で示してくれた。

3. 謙虚になる ~1つでもゴミを拾おう~

謙虚でないと、何も学べない。「~させて頂きます。感謝しています」の状態だ。謙虚になるには、ゴミ拾いが一番。ゴミは、身をかがめないで拾えないが、心と体は相関(身心一如)するから、ゴミ拾いを行えば謙虚な心がついてくる。自分を一番下に置いて(下座行)無心にやれば、「皆すごいなあ」という気持ちになれる。

その差は、どのように表れるのか?

まず、自分が変わる事

1. 自分が良くなる
2. 相手が良くなる
3. 周りの人が良くなる
4. 周囲の空気が変わり、物が生きてくる(万物生成)

まず自分が良く変われば、相手の返事や気持ちも良くなり、それを見聞きする周りの人も、気持ち良くなる。そして、自分の周囲の空気が変わり、物が生きてくる。ディズニーランドが良い例だ。さらに進むと、お釈迦様は、あの世に行っても生き返るといふ。まずは、「明るい・元気ですね!」と言われる自分を目指したい。

4. MSでの一つ一つの動作と姿勢 ~美しいかどうかが基準~

- ・役職者の心得、7アクト、十七箇条斉唱、輪読はゆっくりと噛み締めて読む。
- ・歌はしっかりと歌う。立ち姿はつま先に重心を置く。
- ・葉は、両肘を脇に付けて手をスッと上げた時に、自然に止まる高さで持つ。
- ・拍手は、顔の高さで、大きな音で。(手をずらすと、良い音が出る)
- ・講話までが、セレモニー。背もたれに背を付けず、腰骨を立てる。
- ・一つ一つの動作を、皆と合わせる意識を持って行う。我を捨てる。

次回 第855回MS! 11/27 (火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)

テーマ：『組織はリーダー次第』

講師： 袖ヶ浦市倫理法人会 相談役 (株)三友鋼機 佐々木 大八 氏

できるできるやればできる!
明るく楽しくなければ倫理じゃない!
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく